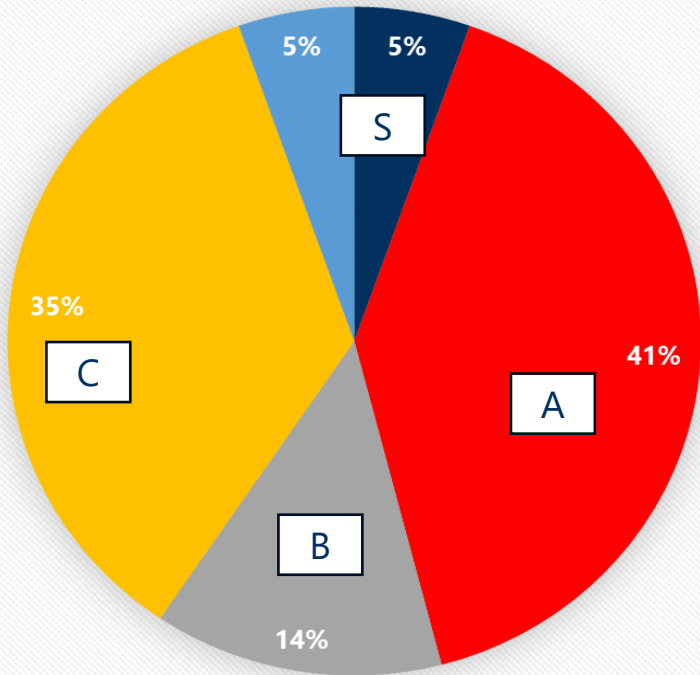


成果目標進捗状況について(2024年度) <総括>

32の成果目標のうち

- ✓2個の評価指標（「S」）については、既に最終目標を達成済みであり、目標の上方修正を予定している。
- ✓15個の評価指標（「A」）については、2024年度の目標を達成。
- ✓中期計画からのフィードバックを踏まえ、12個の成果目標が、成果目標・評価指標の変更や見直しを行う予定である。



■ S ■ A ■ B ■ C ■ その他

評価指標進捗状況自己評価（所管する委員会による自己評価）

「S」:最終目標を既に達成している。

「A」:2024年度の目標を達成している。

「B」:2024年度の目標は達成していないが、現状を継続すれば最終目標を達成見込である。

「C」:2024年度の目標を達成しておらず、最終目標の達成に向けて改善が必要である。

| | S | A | B | C | その他 | 合計 |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|------|
| 評価数 | 2 | 15 | 5 | 13 | 2 | 37 |
| 割合 | 5% | 41% | 14% | 35% | 5% | 100% |

※その他について

2つの成果目標については、2023年度のヒアリング・フィードバックを踏まえて、評価指標・到達目標を変更したが、変更を決定した時点で既に当該年度の事業が終了していたため、2024年度の自己評価は評価無しとした。

「JSP0中期計画2023-2027」進捗状況自己評価一覧(2024年度)

重点項目① 地域スポーツの最適化

| No. | 評価指標 | 到達目標 | 2024年度実績 | 2024年度自己評価 |
|-----|---|--|-----------------------|------------|
| 1 | 総合型クラブ登録・認証制度登録クラブ数 | 2027年度までに2,700クラブ | 1,087クラブ | C |
| 2 | 総合型クラブにおける学校運動部活動連携タイプ認証(仮称)の準備状況 | 2025年度に認証開始 2027年度までに認証制度の活用団体の拡大 | 運用に向けた規程類の策定 | A |
| 3 | 公認スポーツ指導者認定者数 | 2027年度までに300,000人以上 | 289,274人 | A |
| 4 | 大会での指導者資格保有義務付け状況 | 2025年度までに中央競技団体主催大会、2026年度までに都道府県競技団体主催大会での義務付けを達成 | 中央競技団体13 都道府県競技団体3 | C |
| 5 | 保護者や教員、スポーツ指導者等に対するJSP0-ACP普及・啓発活動を継続的に実施 | 2027年度までに参加者累計10,000人以上 | 累計7,272人 | A |
| 6 | 「フィジカルリテラシー」の概念を加盟団体関係者やスポーツ指導者に普及 | 2027年度までに累計25,000人以上 | 累計4,331人 | B |

重点項目② 多様性の尊重

| No. | 評価指標 | 到達目標 | 2024年度実績 | 2024年度自己評価 |
|-----|---|--|-----------------------------------|------------|
| 7 | 在留外国人・留学生との交流イベントの参加者数 | 2027年度までに累計1,000人以上 | 累計332人 | C |
| 8 | アジア地区との連携・協力事例に関する新たな事業の準備状況 | 2027年度までに新たな連携・協力事例を創出 | マレーシア内の3団体と今後の連携方針について具体的な協議を進めた。 | A |
| 9 | スポーツを通じた社会課題の解決に向けた各種研修会講習会の参加者数 | 2027年度までに累計25,000人以上 | 累計66,497人 | S |
| 10 | 女性スポーツに関する研修会ほかイベント等への参加者数 | 2027年度までに累計2,300人以上 | 累計817人 | C |
| 11 | 女性役員の育成・登用にに向けた課題や好事例などに関する情報発信・共有の機会や場 | 女性役員の育成・登用にに向けた情報発信・共有の場を、2023年から2027年の間で新たに延べ20回設ける | 6回 | A |

重点項目③ スポーツ・インテグリティの強化

| No. | 評価指標 | 到達目標 | 2024年度実績 | 2024年度自己評価 |
|-----|--|------------------------------|--------------|------------|
| 12 | 全国の単位スポーツ少年団における「スポーツ団体ガバナンスコード(一般スポーツ団体向け)」の遵守状況の自己説明・公表率 | 2027年度までに100% | 33.6% | A |
| 13 | 総合型クラブ登録・認証制度登録クラブのうち、法人格を取得しているクラブの割合 | 2027年度までに70% | 54.60% | B |
| 14 | スポーツ指導者資格における新制度(インテグリティ研修の受講義務、研修ポイント制)の準備状況 | 2027年度までに義務化・導入 | 研修ポイント制の概要決定 | B |
| 15 | 国体(国スポ)出場選手および帯同サポートスタッフのアンチ・ドーピング教育受講率 | 2023年度以降100%を維持 | 100% | S |
| 16 | アンチ・ドーピングに関する情報提供対象者数 | 2027年度までに累計3,100,000人以上 | 累計1,903,669人 | A |
| 17 | JSP0暴力行為等相談窓口の認知度 | (1)JSP0関係者 2027年度までに85% | 71% | A |
| | | (2)JSP0関係者以外 2027年度までに20% | 9% | C |
| 18 | 全国に居住するモニターを対象とした調査において、「いかなる理由でも、指導者・コーチによる不適切な行為(例:暴力、暴言、ハラスメント)はあってはならない」と回答する割合。 | (1)JSP0関係者 2027年度までに85% | 72% | C |
| | | (2)JSP0関係者以外 2027年度までに80% | 54% | C |

重点項目④ 次世代につなぐ新たな仕組みの実現

| No. | 評価指標 | 到達目標 | 2024年度実績 | 2024年度自己評価 |
|-----|---|--|-----------------------|------------|
| 19 | 国スポチャンネル (1)1チャンネル(CH)あたりの動画視聴回数 | (1)2027年度までに1チャンネル(CH)あたりの動画視聴回数2,800回以上 | 1639.7回/CH | - |
| | (2)オリンピックなど国際競技大会で活躍するようなトップアスリートの国スポへの参加率 | (2)2027年度までに60%以上に向上 | 46.1% | - |
| 20 | 国スポでイベント事業を実施する競技団体の割合 | 2027年度までに70%以上 | 63% | A |
| 21 | 国スポ冬季大会の開催地選定状況(2025年から2035年まで11年分の冬季大会開催地を選定(延べ33競技会分のうち9競技会は決定済)) | 2027年度までに2035年までの冬季大会開催地を選定 | NFと協議/開催可能県と協議 | C |
| 22 | 日本スポーツマスターズ平均参加者数 | 2027年度までの5年間で平均8,000人以上 | 平均7,290人 | C |
| 23 | 日本スポーツマスターズにおける「競技志向が高い」と回答する参加者の割合 | 2027年度までのすべての大会で95%以上 | 95% | A |
| 24 | 日本スポーツマスターズによる開催地活性化事例数 | 2027年度までに累計5件 | 累計2件 | A |
| 25 | 青少年世代が参加する国際スポーツ交流事業参加者数 | 2027年度までに累計4,000人以上 | 累計1,724人 | B |
| 26 | 新たな形態による全国スポーツ少年大会の準備状況 | 2025年度から実施 | 大会開催県と具体的なプログラム検討 | A |
| 27 | (1)スポーツ少年団と総合型クラブの連携・統合に向けた準備状況 | (1)2025年度までに連携促進の施策等を検討 | 会議体を設置し協議を開始 | A |
| | (2)加盟競技団体等のジュニア・ユース部門との連絡会議の準備状況 | (2)2025年度までに会議体を設置し協議を開始 | 全国交流大会実施NFとの情報交換を継続実施 | C |
| | (3)ジュニア・ユーススポーツ憲章の策定状況 | (3)2026年度までに策定 | 会議体メンバーの選定 | C |
| 28 | 国民体育(スポーツ)大会・日本スポーツマスターズの開催を通じてスポーツボランティア組織を創出した都道府県・市区町村の数 | 2027年度までに20件 | 累計4件 | C |
| 29 | 公募のスポーツボランティアを活用する加盟競技団体の割合 | 2027年度までに70% | 50% | A |

JSP0ブランド戦略

| No. | 評価指標 | 到達目標 | 2024年度実績 | 2024年度自己評価 |
|-----|--------------------------------|---|--|------------|
| 30 | パートナー企業数 | 2027年度までにパートナー企業30社 | 24社 | B |
| 31 | スポーツ・ヒューマン・データベース(SHDB)構築の準備状況 | 2027年度までにSHDBを構築し、SHDBを活用した新たなサービスの提供を開始する | 一部事業におけるSHDB導入に向けた開発作業実施 | A |
| 32 | JSP0の認知度および信頼性 | 2027年度調査時点で ●認知度 →高関与層 90% →中間層 85% →低関与層 45% ●信頼できる 60% ●好感もてる 45% | ●認知度 高関与層:32.4% 中間層:25.8% 低関与層:11.1% ●信頼できる 26.2% ●好感もてる 8.2% | C |

評価指標進捗状況自己評価

「S」:評価の段階で最終目標を既に達成している。
「A」:当該年度の目標を達成している。
「B」:当該年度の目標を達成していないが、現状を継続すれば最終目標を達成見込。
「C」:当該年度の目標を達成しておらず、最終目標の達成に向けて改善が必要。